



川田 殖 (かわだ しげる)

一九三一年、北海道網走市生まれ。一九五七年、国際基督教大学卒業。一九五九年、京都大学文学部哲学科卒業。一九六四年、京都大学大学院博士課程修了。
国際基督教大学助教授、大阪医科大学助教授、山梨医科大学教授、恵泉女学園学園長を経て、二〇〇五年、日本聾話学校長退職。

川田殖 講演集

①
②
③

待望の復刊

『信州の片隅から』
『混迷の時代の中で』
『若き友らとともに』

初版発行からおよそ三十年の時を越え
今なお現代に生きる私たちの胸にせまることは
教育の真髄を真摯に温かく語る

信教出版 発行



発行

信州教育出版社

長野市旭町1098 ☎026-232-0291

取扱い



株式会社

しんきょう NET

本社 長野市旭町1098 ☎026-233-1135

下の注文書をご利用いただき、しんきょうネットまでFAXにてお申し込みください。

FAXフリーダイヤル 0120-25-1098

川田殖 講演集 ①～③

注文書

下記のとおり注文します。

★右の表に、ご注文の内訳をご記入ください。

平成 年 月 日

《学校関係の方》

学 校 名	学校
注文責任者氏名	

《学校関係以外の方・長野県外の方》

電話番号	
お届け先 ご住所	〒

注 文 者 氏 名 (公用の場合は「公用」と記入)	3冊セット ケース入 3900円 (税込)	①信州の 片隅から 1365円 (税込)	②混迷の 時代の中で 1365円 (税込)	③若き友ら とともに 1365円 (税込)
計	セット	冊	冊	冊

《学校関係以外のお客様へ》

※別途送料500円がかかります。お支払いは郵便振替となります。

※FAXフリーダイヤルは長野県内のみです。県外よりお申し込みの場合は、

E-Mail : sales06@shinkyo-net.co.jp または TEL : 026-233-1135 までお願いいたします。

復刊によせて

年たけて また越ゆべしと思ひきや いのちなりけり 小夜こよの中山

(西行『新古今集』)

思いがけず、三十年前の講演集が復刊のはこびとなった。まさに「いのちなりけり」の感なきをえない。

四十才代に気負い立って語った未熟なこの講演集に、なおかえりみるべきものがあるとすれば、それはここに取り上げられた古人のひたむきな姿である。これからの若い心ある人びとが、この貧弱な紹介をこえて、古人の心と生き様に学び、―ことに次代をになう若き魂とともに―意義ある人生を送られるならば望外のしあわせである。

そのための若干の工夫として、難読と思われる語にはふり仮名をつけたほか、固有名詞でも、『広辞苑(第六版)』に出ていないものには簡単な注をつけ加えた。心ある読者がこれをヒントとして、その典拠そのものに直接に親しまれるようにとは、私の心からの希いである。

川田 殖

川田殖先生のエッセー「星を仰いで」を『信濃教育』(平成二十一年五月)で読んだとき、自分の頭の中の「肩こり」のようなものが、すうっととけていくような感覚にひたった。小学校六年生が多くの人協力によって「いのちの井戸」を完成させたこと。この間の子どもたちのいのちの輝き、若い先生の颯爽たる全力投球の姿、学校を中心とする共同体の姿、関係する人々の献身的な応援の姿。そこから、教育は現実の人間を真実の人間にする営みであるとおっしゃる。川田先生の、事実の中に一本通っている真実まことを鋭く温かく見抜かれる深い眼ざしを感じたのであった。

この「星を仰いで」の連載が進むにつれて、これをぜひ継続してほしいという声が強く出され、あわせて、以前に出された『信州の片隅から』『混沌の時代の中で』『若き友らとともに』の三部作の注文が相ついだ。それを受けてこの本の新装版の発刊となったのである。

さっそく、最初に出された『信州の片隅から』に目を通してみた。そこで強く感じたことは、ここに書かれていることが、いま連載中の「星を仰いで」に太い線でつながっているということであり、一貫した先生の強い信念であった。「人生の手ごたえは人格にあり、ことに真理につながれた人格である」という強い一本の線であった。そのことが、小学校時代の恩師の赤茶けた写真を研究室にかざって、その女教師との「対話」を続けている京都大学の島田虔次教授を、尊敬をこめて紹介なさっているところからも感じられるのである。

この三部作は、どこから手をつけてもよろしいと思う。親しい友人と、あるいは学年会の仲間と、どれか一冊を選んで読み合い、自由な意見交換をする。こんなことから、一つのことに向かっていく新たな意思が芽生えるにちがいない。そう思いつつ、この三部作を心からお勧めしたい。

信濃教育会会長 宮本経祥

『信州の片隅から』

佐久教育への希望

一九七二(昭四六)年六月一日、佐久教育会総集會にて。

日本の教育と信州の教育

一九七三(昭四八)年六月一日、南安曇教育会総集會にて。

手塚縫蔵と日本の将来

一九七四(昭四九)年一〇月二六日、手塚先生百大二〇周年記念講演會にて。

教育を生かすもの

一九七三(昭四八)年六月五日、上水内教育会総集會にて。

人間教育の悲惨と栄光

一九七二(昭四七)年五月二〇日、北安曇教育会総集會にて。



『混沌の時代の中で』

子どもの進路と日本の進路

一九七八(昭五三)年六月九日、長野県中学校長会研究協議會にて。

混沌のさ中に立つて

一九七九(昭五四)年五月一九日、北安曇教育会定期総會にて。

日本の将来を握るもの

一九七九(昭五四)年二月一八日、第三二回日本連合教育会松本大会にて。



塩筑教育の原点

一九七九(昭五四)年六月四日、東筑摩塩尻教育会総集會にて。

八〇年代を子どもと生きる

一九八〇(昭五五)年二月八日、佐久市立岩村田小学校PTA講演會にて。

『若き友らとともに』

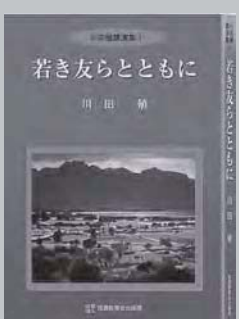
西洋精神の根本にあるもの

教育の目のつけどころ

いのちのゆくえ

ペスタロッチに学ぶ

学徒であること



一九七七(昭五二)～一九九三(平五年)、南安曇哲学会、南安曇教育会講演會にて。

仕様 B6判 二〇八～二二六ページ
並製 カバー装

定価 ケース入り三冊セット 三九〇〇円(税込)
各 一三六五円(税込)